

スポンサー様

JJSF 全日本選手権 第6戦 & 第7戦 in 蒲郡



開催日

7月14・15日

開催場所

愛知県 蒲郡市

出場クラス

Pro 級 Ski Open

R/A Open

結果

Ski 第4戦 決勝進出

ステアリングケーブルの破損により 16位

第5戦 予選1位

決勝 10位 (マシントラブル)

R/A 第4戦 グリッド予選 2位

決勝 2位

第5戦 グリッド予選 4位

決勝 2位

前回の第4・5戦同様愛知県蒲郡市にて開催されました第6・7戦ですが、フィリピンでの国際大会や学生の本分である期末テストが重なり、修理、練習、テスト等を行う時間が無い状況でのレースでした。特にS4に関しては第4戦で全損したレース用エンジンが予算の関係で代替を用意する事が出来なく、練習用のエンジンを使っただけの参戦でしたが、エンジン本体、電気系共にトラブルがあった様で、始動性の悪さ、吹け上がらない等のトラブルが大会会場で発生し、理由も掴めずに厳しい状況でのレースとなりました。また、ランナバウトも、TOPスピードが出ない、レース中エンジン回転数が落ち込むといったトラブルを抱えながらのレースとなりました。しかし、ランナバウトのトラブルは、レース後のオーバーホールで原因が判明しましたので、次戦の「プロ アジアン グランプリ(タイ)」でのレースは万全の状態で見守りたいと思います。

Pro Ski

第6戦の予選はアウト側からのスタートでした。スタートでは、エンジンがかからず、かかった後も、吹け上がらないと言った状態でのスタートでした。その結果、合流では8位。これから抜いていくぞ!!と思った時にホームストレートエンドでエンジンが完全に止まってしまいました。どうにか、かけ直して再スタートしたのですが、すでに前艇と半周以上の差をつけられていました。頑張っただけ追いついたものの周回数が足らず、予選落ちとなってしまいました。しかし敗者復活戦で勝ち上がった為、なんとか決勝進出となりました。

決勝では、スタート前にS4のエンジンが完全に始動出来ない状態になった為、急遽KAWASAKI SX-Rでの出場を余儀なくされました。スタートのタイミングは良かったものの、レース途中で今度はステアリングケーブルが切れてしまい、足を使って旋回しながらの走行となり、どうにか完走をしましたが最後尾となってしまいました。今年一番悔しいレースとなりました。

第7戦の予選では、前夜に寝ないでS4の修理を行った結果、エンジンがどうにかかかるようになったのでS4で出場しました。しかし、エンジンの指導性が依然悪く、加速力が全く無い状態でのスタートとなり、他の船より3・4艇身遅れてからスタートとなりました。もちろん合流では最下位でした。しかし、アクセルを戻さなければエンジンは回ってくれる事が判りましたので、アクセルを緩めずに挽回して行くことと決めました。2周目に2艇抜き、3周目に3艇抜き、4周目に2艇抜いて、最終ラップ前には1位まで上がってくる事ができました!! その後も徐々に後続艇を離していき、トップフィニッシュでした。予選とは言えど、プロスキークラスでのトップフィニッシュはとても嬉しかったです。マシンさえ壊れなければ、ここまで走れることを立証できました。

決勝では、S4ではいつエンジンが掛からなくなるかが判らない状態であった為、第6戦のA級スキーで優勝したYAMAHAのSJをお借りして、レースをする事に決めました。しかし、練習走行中にSJにもトラブルが発生し、決勝で使えない事が判りました…。その為、ダメもとでS4での参戦となりました。

決勝はアウトの一番内側からスタートをしました。今回もスタートが全く切れず、出遅れてスタートし合流では10位ぐらいでした。これから巻き返していこう!!と思った瞬間にホームストレートエンドの2点ブイでエンジンがまた止まってしまいました。その後何度エンジンをかけ直しても吹け上がらず、再スタート出来ないままトップに2周周回遅れにされました。それでも諦めずにエンジンの再始動を繰り返し、ようやく吹け上がって走れるようになった頃には既に最後尾である事が確定していました。しかし、またアクセルを戻さずに最後まで諦めず走り続けた結果、18位から10位まで順位を上げてのゴールとなりました。

こんなに悔しいレースは今までありませんでしたが、最後まで諦めずに走ると言う僕のポリシーを貫いたレースとなりました。

Pro R/A

第6戦のグリッド予選はインコースからのスタートでした。スタートがバッチリ決まり、2番ブイで砂盃プロと接触があったもののインのホールショットを獲得しました。合流ではアウトからの竹野下プロに続いての2位となり、追いかけて続けました。しかし追いつく事ができず、2位でのゴールとなりました。

決勝ではインの2番目からスタートしました。今回もバッチリスタートが決まったものの、隣にいた竹野下プロ、外からも三上プロと井上プロに先行されてしまった為インの最後尾で合流へ向いました。合流後は7位でした。しかしここから慎重に諦めず攻めていった結果、6位だった砂盃プロをチョイスで抜いた事から始まり、1艇ずつ確実に抜かして行きました。とうとう最終ラップでは3位まで上がれました。そして最終ラップで2位でのゴールとなりました。しかし、レース中に何度かエンジンの回転数が一気に落ち込む現象が起きていました。もしそれが無ければ、もっと楽な展開だったと思います。

昨日の回転数が落ち込むトラブルの原因を探しましたが、発見できないまま第7戦を迎えました。グリッド予選はアウトコースからのスタートで、マシントラブルの為アウトの最後尾からスタートし合流では8位でした。やはりマシンのトラブルが原因で、いつも最後尾から追い上げの展開となります。グリッド予選は周回数が少ない為、あまり抜いて行く事ができず、悔しい4位でのゴールとなりました。

決勝ではインの3番目から、トラブルをかかえたままのスタートでした。今回もスタートで前に被せられてしまい、インの最下位で合流へ向かい、合流後は8位でした。前日同様、後ろから確実に1台ずつ抜いて行きます。残り3週の時点で今回も2位にまで上がる事ができ、1位を独走している竹野下プロを追いかけます。最終ラップには2ブイ差まで追いつく事ができましたが、それ以上は追いつかず、2位でのゴールとなりました。マシントラブルが悔やまれます。

レースを終えての感想

今回は第4・5戦のように2連勝とはなりませんでしたが、また、竹野下プロを抜く事ができずとても悔しい結果でしたが、7位や8位から確実に2位まで上がってこれた事で自分に自信がつけました。Skiでも第7戦の予選のように、最下位から1位まで上がってこれた事で自分のレベルが確実に上がっている事を実感しました。次戦のプロアジアングランプリ、JJSF最終戦の二色の浜大会ではマシン整備を確実に行き、表彰台を目指してしっかりと練習に励んでいきたいと思います。

今後とも応援の程宜しくお願い致します！！



Team WPS Japan
小原 聡将